



コンタクトプレーを 正しく見極める

～ハードプレーとラフプレーの整理から～



コンタクトプレーを正しく 見極めるために



「ハードプレーとラフプレーの見極め」

ハンドボールの競技特性

⇒ 激しいコンタクト
スピーディーなゲーム展開

<2019、2020、そしてその先・・・>

われわれレフェリーが、理解し、整理し、
解決していかなければならない課題



コンタクトプレーを正しく 見極めるために



「ハードプレーとラフプレーの見極め」

競技規則第8条「相手に対する動作」

⇒ 攻撃側、防御側の**双方**にあてはまる

<身体接触の際>

- ◆ 両者の**位置関係**
- ◆ 違反を受けたプレーヤーへの**影響**

競技規則 8 : 1 (a) ~ (c)



次の行為は許される

- (a) 他のプレイヤーの手からボールを取るために、開いた片手を使うこと
- (b) 相手の身体に接触し、そのまま相手の動きに合わせてついていくために、**曲げた腕**を使うこと
- (c) 位置取りをめぐり、相手をブロックするために**胴体**を使うこと

ハードプレーとラフプレーの見極め (防御プレイヤーの位置と防御行為)

防御行為の **ハードプレー** とは・・・

- ◆ 攻撃プレイヤーの正面
- ◆ 競技規則 8 : 1 の状況
- ◆ 相手の安全面を守る



接触の度合いが強かったとしても
ハードプレー として認める



正しいコンタクト (良いディフェンスの例)



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



正しいコンタクト (オフェンシブファールの例)



正しいコンタクト (ハードプレーの例)



正しいコンタクト (ハードプレーの例)



正しいコンタクト (ハードプレー：ピボットプレーの場合)



ハードプレーとラフプレーの見極め (レフェリングの際の**ポイント**)

【大切な判断基準（事実判定の根拠）】

① **ボディコントロール**は？

・・・シュートを打ち切ったかどうか

② プレーヤーの**影響**は？

・・・動けない（すぐに帰陣できない）ほどの影響？

DFと**接触**していても

③ **ボール**に対するプレー？

シュートを**外**しても



ハードプレーとラフプレーの見極め レフェリングの際の**ポイント**)

もしも、ボディーコントロールを
失わずにプレーできているならば・・・

◆ スピーディーなゲーム展開を重視

◆ 安易に競技を**中断**しない

7m スローの判定や
罰則の適用 などにより

ハンドボールの**面白さ**を表現する

どの罰則を適用するかについての判断基準 (8 : 3)



- a) 違反行為をしたプレイヤーの **位置**
 - ・ ・ 相手に対して、正面？側面？後方？
- b) 違反行為が対象とした **身体の部位**
 - ・ ・ 胴体？シュートしている腕？脚？頭部？喉？首？
- c) 違反行為の **激しさの程度**
 - ・ ・ 接触の強度は？相手の動きの速さは？
- d) 違反行為の **影響**

ハードプレーとラフプレーの見極め (防御プレイヤーの位置と防御行為)

- ◆ ボールを対象としていない
 - ◆ 不利な位置から接触を試みた
- ⇒ **ラフプレー** として判定
(競技規則 8 : 2、 8 : 3)

横から

後ろから



DFのコンタクトによる シューターへの影響



DFのコンタクトによる シューターへの影響



DFのコンタクトによる シューターへの影響



即座に2分間退場とすべき違反行為 (8:4)

- a) 衝撃の大きい違反行為や、高速で走っている相手に対する違反
- b) 相手を背後から捕まえ続けること、あるいは引き倒すこと
- c) 頭や喉、首に対する違反
- d) 胴体やボールを投げようとしている腕を激しく叩くこと
- e) 相手が身体のコントロールを失う行為をしようとする事
(例：ジャンプ中の相手の足/脚をつかむ。8:5aを参照)
- f) 高速でジャンプして、あるいは走って相手にぶつかること



開始直後でも、即座に2分間退場もありうる！

DFのコンタクトによる シューターへの影響



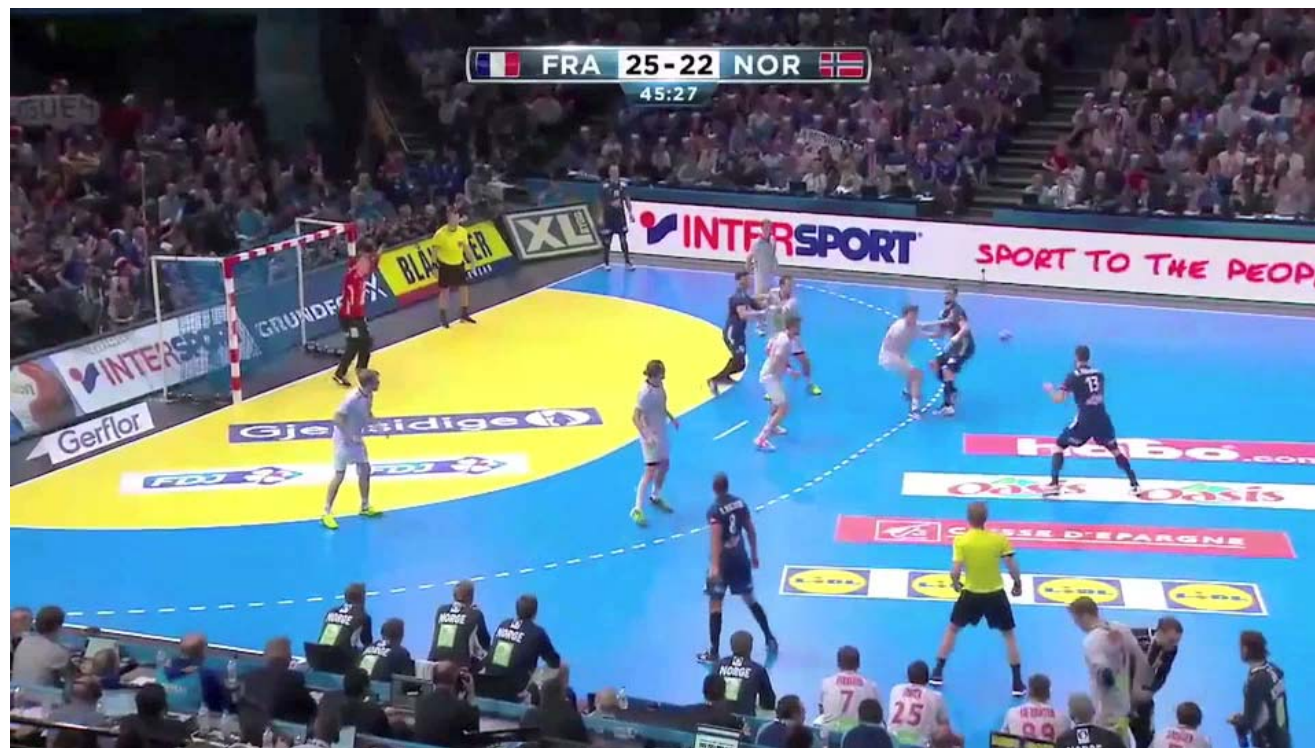
DFのコンタクトによる シューターへの影響



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



DFのコンタクトによる シューターへの影響



Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission



コンタクトプレーを正しく 見極めるために



「ハードプレーとラフプレーの見極め」

ハンドボール ⇒ 戦いの競技

コンタクトの発生は必然的

<2019、2020、そしてその先・・・>

コンタクトプレーの中で、世界と

闘っていくために “指導” “強化”

していくことが重要である



これからのレフェリーの役割



◆世界の流れ

⇒ スピーディーなゲーム展開

◆競技規則 8 : 3 ⇒ **判断基準**

・ ・ ・ **機械的に判定**

◆プレーを**正確に観察できる**良い位置



これからのレフェリーの役割 ～前半のうちに基準（許容範囲）を示す～

前半のうちに

インフォメーション

ボディランゲージ

段階的罰則

基準（許容範囲）
を伝えていく

⇒ 後半に罰則を適用する必要がないようにする
（もちろん**罰則を適用する準備**は必要）

これからのレフェリーの役割 ～一試合を通して～



60分の中で

起きた現象
プレーの質

良いプレーを保証し
悪いプレーを排除する

違反を受けたプレーヤーへの影響を見極め
罰則を適用するかどうかの判断をする



レフェリーの使命



チーム・プレーヤーは日々、トレーニングしている。
レフェリーの使命は

トレーニングの成果を存分に発揮させる

ことである。この使命を果たすために、身体的、精神的、競技規則の理解、映像分析、 etc. 大会やゲームに臨むため、そして、大会期間中、ゲーム直前…日々「準備」しなければならない。



ハンドボールの発展のために 皆でトレーニングを積む

Team JAPAN として2019年、2020年、
そしてその先と…



レフェリー × 指導 × 強化 =

「スピードハンドボール」

「パワーハンドボール」



の追求と発展を共に求めていかなければならない。

Japan Handball Association / Playing Rules and Referees Commission

